



〒610-0343

京田辺市大住仲ノ谷12の1 TEL 0774-63-6335 FAX 0774-65-5391  
ホームページ <https://www.kyotanabe.ed.jp/no3/touen-es/>

12月号

令和7年12月1日

## 苦労したことが心に刻まれていれば

教頭 安井 秀臣

師走を迎え、校庭の木々も冬の装いとなり、子どもたちの元気な声が一層澄んで聞こえる季節となりました。今年一年、子どもたちは学習や行事を通して大きく成長しました。保護者の皆様、地域の方々の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

さて、12月は人権デーや人権週間があります。本校でも12月1日～5日までを人権週間として、普段より深く人権について考える取組を行います。次の話も人権を考える一つになればと思います。

「人間は自分が感じた悔しさや悲しさを心に刻んでいれば、ほかの人と同じ状況に置かれているのを見た時に、その人の心を推し量れる人間になる。」

自分の経験したことを心に刻む力は人間が遠い昔から受け継いできたいわゆる人間らしさのあらわれの一つです。刻まれたことをどのように生かすかは、その人の責任です。悔しさや悲しさを憎しみに変える人もいれば、それをバネに強く優しくなる人もいます。どちらを選択するかの分岐点は、どの人間にも等しく与えられています。

選択の分岐点に立って、どちらに進むかを決定するのはその人間の意志であり、意思決定の連続がその人間の選んだ人生ということになります。悔しくて悲しい思いをさせられたから、その仕返しをするなど考える人は復讐の鬼になります。悔しくて悲しい思いをさせられたから、せめてまわりの人にそなないいきをさせないようにしようと考える人は、痛みのわかる優しい人間になります。

鬼になるか優しい人間になるかを選ぶのはその人自身なのです。「友だちに意地悪されたから仕返しする。」というのは悪に負けた人間の言い訳にしかすぎません。なぜなら、「意地悪されたけど、仕返ししないで、その分だけ私は友だちに優しくする。」という方法だって選べるのですから。

人には言えないほどの悲しい苦しい過去を持ちながら、ほかの人間に易しくできる人間こそ、本当の優しさを持った人間ということができます。そのような人間なるには、小さいうちから感情をコントロールする機会が多く与えられなければなりません。子どもが学校で多くの子と出会い、行動を共にすることも、時にはけんかしたりすることも、その貴重な機会の一つと言えます。

今、大人がすべきことは、「子どもに与えられた貴重な機会をとらえて、子どもに心を静めて考えさせる。」ことだと思います。それが多少の痛みを伴つているとしたらなおさらのこと…。

参考著書「子育てのヒント 校長室の窓から」野口晃男

## 個人懇談について

日時 12月17日(水)～22日(月)  
13:45～16:45

11月26日(水)に日時のお知らせをプリントで配付しています。児童の2学期の頑張りやこれからについて、ご家庭での様子も含めて交流できればと考えています。よろしくお願ひいたします。

## 人権週間の取組

1948年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国連はこれを記念して12月10日を「人権デー」と定めています。そして、すべての加盟国にこれを記念する行事をするよう呼びかけています。

これに先だって、桃園小学校では、11月20日の全校朝礼で、先生から、人を思いやり、お互いの人権を大切にしよう、という呼びかけがありました。そして、各学年では人権学習を行います。(各学年の内容は、現時点での予定です。)

- |     |                      |
|-----|----------------------|
| 1年生 | 「ことばのちから」            |
| 2年生 | 「文字でかいわをしよう」         |
| 3年生 | 「みんなちがってみんないい」       |
| 4年生 | 「なにができるかな？なにかできるかな？」 |
| 5年生 | 「こんな時あなたならどうする？」     |
| 6年生 | 「いじめは残酷だ」            |

人権は普段から大切にしていかなければならないものです。この人権週間の取組で、その大切さを見つめ直し、普段の言動を振り返ることで、さらに優しい心が児童に育つていってくれればと考えています。

## 12月の行事予定



月	火	水	木	金	土	日
1 短縮校時 校外学習（1、2年） ：キッズプラザ大阪 ※雨天決行	2 短縮校時 委員会 健康手帳配布	3 短縮校時 学校諸費振替日	4 短縮校時	5 短縮校時 健康手帳回収	6	7
8 短縮校時	9 短縮校時 教育相談 水泳（5年）⑤⑥	10 短縮5校時 歯みがき巡回指導 (4年)③	11 短縮5校時 全校朝礼	12 短縮5校時	13	14
		13:50ごろ	13:50ごろ	13:50ごろ		
15 短縮5校時	16 短縮5校時 しめ縄体験（5年）②	17 短縮4校時 個人懇談	18 短縮4校時 個人懇談 ももっこお楽しみ会③	19 短縮4校時 個人懇談	20	21
13:50ごろ	13:50ごろ	13:00ごろ	13:00ごろ	13:00ごろ		
22 短縮4校時 個人懇談 給食終了	23 短縮3校時 大掃除 終業式	本年ありがとうございました。 3学期始業式は 1月7日（水）です。			27	28
13:00ごろ	11:15ごろ					

※天候等諸事情で予定が変更になった場合は、本校HPやさくら連絡網にてご連絡いたします

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査とは、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における教育指導の充実や学習状況等の改善に役立てる目的で行っています。

本年度4月に行われた調査では、国語、算数、理科、質問紙によるものでした。その結果をまとめましたので、以下のように報告させていただきます。

## 1 学力調査

○国語……全体の正答率：全国平均より+5.2、京都府平均（以下「府平均」と記述）より+3という結果となりました。

内容：項目別に見てみると「書くこと」についての正答率は全国平均より+6.1、府平均と比べても+3.9と高い結果が得られました。また、「読むこと」についての正答率が全国平均+4.8、府平均と比べて+1.9とこちらも高い結果が得られました。また、例年課題となっております「読むこと」の記述式の問題では、全国・府内・校内とも正答率が低く、今年も課題が見られました。

○算数……全体の正答率：全国平均より+4、府平均からは+2と全国平均や府平均よりも高い結果となりました。

内容：項目別に見ると概ねどの項目も全国平均、府平均よりも高い結果となっていました。

○理科……全体の正答率：全国平均と±0、府平均からは-3と府平均よりもやや低い結果となりました。

内容：項目別に見ると電気の学習に関する「エネルギー」の分野に課題が見られました。それ以外の項目は概ね全国平均・府平均と同じ傾向でした。

例年と同じ傾向ではありますが、国語・算数・理科などの教科も、自分の考えをまとめたり説明したりする記述での回答を求める問題になると、途中で回答をやめたり、無回答という児童がおり、正答率が低くなる傾向が見られました。一問一答で答えるだけでなく、自分の考えを表現する、解き方を説明するなどの活動を取り入れ、経験していく必要があると感じました。

## 2 質問紙調査の概要

前年度に引き続き、学習や学校生活に関して、基本的に肯定的な考えを持っている児童がほとんどでした。また、昨今求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を積極的に取り入れ、学習が積み上げられていることが、児童の認識から分かりました。また、「新聞を読んでいる」の項目では、肯定的な意見が全国平均・府平均よりも多く、新聞を読んでいる人が少し多いということが分かりました。一方で、起床時刻や朝食を取っている点では肯定的な回答が多くなったのですが、就寝時刻に関しては2点の項目よりも肯定的な意見が少ない結果となりました。一人一台端末が配付されて以来、ニュースなどでも取り上げられており、スマートやタブレットはSNSや電話などの連絡の手段として用いたり、ネットゲームをしたり、ユーチューブを見たりなど娯楽の道具として活用されている傾向が強いです。本校でも、勉強の道具として使っている項目に肯定的な答えは17%程度しかなく、改善が見られませんでした。今後も、学校や家庭学習でのタブレット端末の活用方法を模索していこうと考えています。ご家庭でも話題に上げていただけると幸いです。

## 3 調査結果の分析を踏まえた今後の改善策

- ◇今まで通りの授業改善の工夫を行い、学力の定着を図る。
- ◇就寝時刻についての啓発を行い、子どもたちの基本的生活習慣を安定させるよう声をかけていく。
- ◇自分の考えを書く、解き方を説明するなど記述する問題をどの教科でも取り入れ、子どもたちに指導していく。
- ◇タブレット端末を「学習の道具」として子どもたちが認識できるような使い方を引き続き指導していく。

よりよい学校教育の実現に向けてご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

## 登下校中のマナーについてのお願い

保護者の皆様へ

日頃より、児童の安全な登下校にご協力いただきありがとうございます。最近、登下校中に以下のようないかだい行為が見られるとの報告がありました。

- ・石を投げる  ・他の方の家やものなどを傷つける  ・無断で他の方の敷地内に侵入する

これらの行為は、けがやトラブルの原因となり、地域の方々にもご迷惑をおかけします。  
つきましては、ご家庭でも次の点についてお話しをうようお願いいたします。

- ・危険な遊びはしない（石を投げない、物を壊さない）  ・他人の家やものを大切にする  ・安全に歩く（道に広がらない、車に注意する）

地域と学校が協力して、子どもたちが安全で気持ちよく登下校できるようにしていきたいと思います。また、可能な範囲で下校中の見守りにもご協力いただけすると幸いです。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。